6月の金賞は8品 インゲンやトウモロコシなど

野菜ソムリエサミット

「野菜ソムリエサミット6月度」（日本野菜ソムリエ協会主催）は6月14日、東京都中央区の築地スクエアビルで開かれ、青果部門の金賞8品が決定。トマトが3品選ばれ旬を迎えた産地からインゲンやトウモロコシ、夏イチゴなど、季節感あふれるラインアップとなった。①入賞品（提供方法）②出品者のコメント③評価者のコメントを紹介する。

①**「譽印のじゃがいも とうや」**（蒸す）

②市毛農園（茨城県鉾田市）https://www.homarejirushinosatsumaimo.com

サツマイモの栽培がメーンの市毛農園は、その貯蔵技術を活用してジャガイモの糖化実験を行っており、形が丸くて皮が剥きやすく、煮崩れしにくい「とうや」のおいしさを最大限に引き出せるよう研究している。

排水対策に取り組む

ここ数年の異常な雨にも対応できるよう排水対策に取り組みながら施肥設計にこだわり、特に今年は比重が重くなるような肥料設定にしたので、どのように味が変化するか調べているという。

鉾田市内の2軒の直売所で販売中で、インターネットでも販売できるよう準備している。

③一品として成立した味わい。何とでも合いそうな甘さだが、あえてこのまま食べたい風味。食感は軟らかいが崩れすぎず、しっかりした歯ごたえで食べ応えがある。

①**トマト「長寿の源」**（生食）

②きそさきの花井さんのトマト（三重県木曽岬町）

土耕栽培で味追求

今年3回金賞を受賞している花井一好さんが、ブランド名と生産者名を変更して臨んだ。品種は「大安吉日　零四」（ナント種苗）で、肥料に鉄力あぐり（愛知製鋼）を使用。今後も土耕栽培で食味の良さをとことん追求していくとのこと。

③キリッとした酸を感じつつ、べっこう飴のような甘みが口の中に広がる。糖酸比のバランスが良く、ほおばるとうま味がジワジワ増してくる。

①**トマト「こくパリッ プレミアム」**（生食）

②パナプラス（栃木県栃木市）https://panatoma.jp/

家庭園芸向け野菜苗の生産・販売を行うパナプラス（小竹花絵社長）は、約200種類に及ぶ苗を年間約100万ポット出荷。その中で育種したトマトのオリジナル品種「こくパリッ」は、食味の良さを追求した分、葉かびなどの病害耐性がほとんどないため、栽培が非常に難しいという。

糖度と大きさで選別

プレミアムは大きさを10～14gに揃え、色は深紅で、糖度11度（季節により12度）以上。現在一般販売はなく一部のレストランにのみ販売。仲田雅洋さんは「ストレスをかけず、代謝を良くして樹を健全に育てることが大切」と話す。

「こくパリッ」シリーズは公式オンラインショップで販売。

③小さい実の中にバランス良くさまざまな味わいが閉じ込められていて素晴らしい。トマトの甘みの中にコクを感じる。小粒だが果肉・果汁ともに味に奥行きがある。

①**「闇採りスイートコーン」**（生食・レンジ）

②peakfarm（愛媛県西条市）https://peakfarm.jp/

決め手は肥沃な土

四国最高峰の石鎚山脈から湧く澄んだ水と穏やかな瀬戸内の気候を活かし、ミネラルをたっぷり含む肥沃な土づくりにこだわり栽培。スイートコーンは夜間に糖分を蓄えるため、最も甘くなる夜明け前に収穫することから「闇採り」と名付けた。

③ブドウの甘さとナシの甘さのミックス。一口目から甘い！強い甘みとジュースがたっぷり。

①**「朝生（あさなま）とうもろこし」**（生食・レンジ）

②備中農園（岐阜県羽島郡岐南町）https://bichu-nouen.com/

「直宅」で鮮度保持

鮮度をとことん追求し独自の販売方法「直宅」システムを開発。徹底した温度管理と鮮度保持袋（オーラパック）で鮮度を保つ工夫をしている。

③最高級の糖度。ジューシーで、まるでスイーツ。レンチンは一粒一粒がぷっくりとふくらんで噛むと口の中ではじけてとてもおいしい。

①**イチゴ「ベリーナルビー」**（生食）

②ベリーナ（長野県伊那市）https://berrina.net/

夏に高品質の国産

夏でも国産の高品質なイチゴを届けたいと栽培に取り組んでいる。平均糖度12度の甘みとさっぱりした酸味、蜜のような香りの「ベリーナルビー」は輝くような真っ赤な色合いが魅力。公式オンラインショップで販売中。

③甘み、酸味、ベリー風味、複雑な味わいが口の中に広がり満足度の高い一粒。甘みも酸味もしっかりあり、夏イチゴとしてはとても強い味わい。

①**トマト「アマティ」**（生食）

②METRI　TRY　FARM（山形県西置賜郡白鷹町）https://metri-tryfarm.jimdofree.com/

ポンプを使った装置の設計・製造を行うメトリ（橋本幸雄代表）から誕生したエンジニアファーム。トマト栽培3年目の今年4月に農業法人を設立。現在、ハウス1棟の総面積は3・2aで、今年3棟を増設する予定。

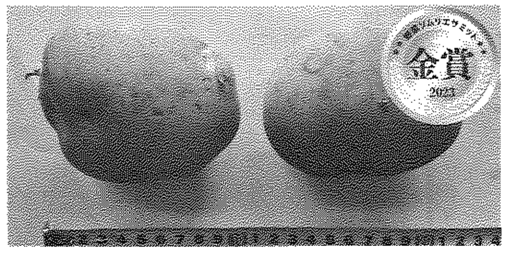
自社製装置が活躍

栽培品種は糖度の上がりやすい「フルティカ」（タキイ種苗）。隔離培地

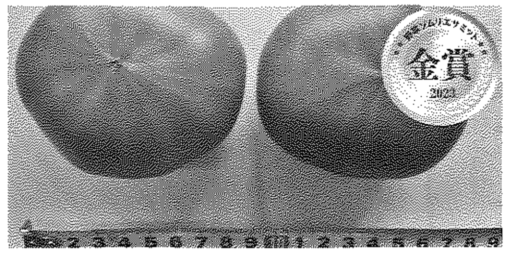
6月度青果部門の金賞受賞品目

譽印のじゃがいも とうや　（市毛農園／茨城県鉾田市）
長寿の源　（きそさきの花井さんのトマト／三重県木曽岬町）
こくパリッ®プレミアム　（パナプラス株式会社／栃木県栃木市）
闇採り®スイートコーン　（peakfarm／愛媛県西条市）
朝生とうもろこし　（株式会社備中農園／岐阜県羽島郡岐南町）
ベリーナルビー　（ベリーナ／長野県伊那市）
アマティ　（株式会社 METRI TRY FARM／山形県西置賜郡白鷹町）
まっつん農園のインゲン　（まっつん農園／茨城県かすみがうら市）

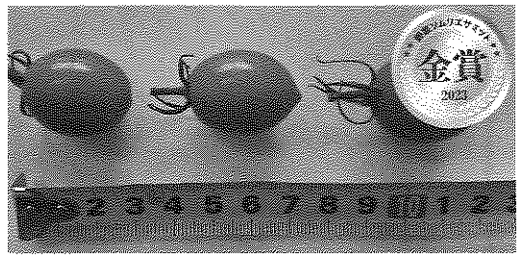
（　）は出品者



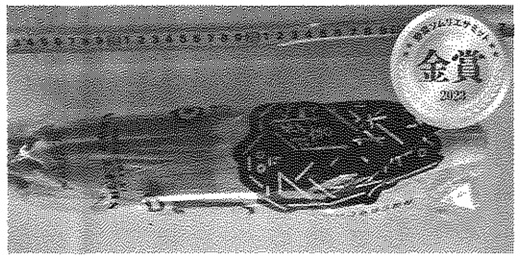
「譽印のじゃがいもとうや」（市毛農園）



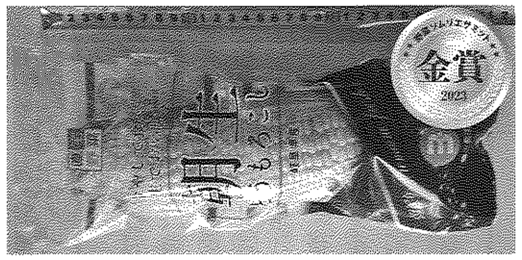
「長寿の源」（きそさきの花井さんのトマト）



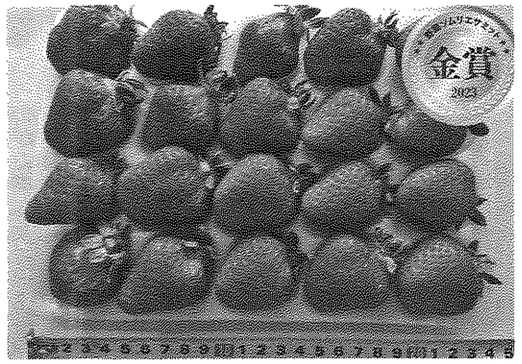
「こくパリップレミアム」（パナプラス）



「闇採りスイートコーン」（peakfarm）



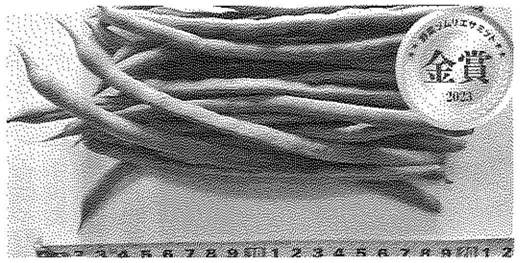
「朝生とうもろこし」（備中農園）



「ベリーナルビー」（ベリーナ）

金賞
2023
完熟採り
奇跡の甘さ！
アマティ
METRI TRY FARM

「アマティ」（METRI TRY FARM）



「まっつん農園のインゲン」（まっつん農園）

世界農業遺産に認定

埼玉県・武蔵野地域

江戸時代から続く「落ち葉堆肥農法」

埼玉県武蔵野地域は、このほど国連食糧農業機関（FAO）の世界農業遺産に認定された。

埼玉県川越市、所沢市、ふじみ野市、三芳町の4市町からなる武蔵野地域は、水が乏しく火山灰土に覆われて痩せた土地であったが江戸時代から木々を植えて平地林を育て、その落ち葉を堆肥として畑に入れて土壌改良を行う伝統的な落ち葉堆肥農法が今日まで受け継がれてきた。

落ち葉堆肥農法は栄養分

DNA検査法を確立

カンキツ品種　正確かつ簡便に識別可能

岡山大など

岡山大学学術研究院、農研機構、愛媛県農林水産研究所、ファスマックの研究グループは、真核生物のゲノム中に存在するレトロトランスポゾン配列を解析することでカンキツの品種を正確かつ簡便に識別が可能なDNAマーカーを開発した。

海外流出が相次ぐ

近年、日本国内で育成された優良な品種が海外へ不当に流出して無断栽培される事態が発生しており、品種の育成者権の保護と育成者権侵害物品から生産者を守るため、税関などの水際で迅速に品種を識別できる技術の開発が求められてきた。

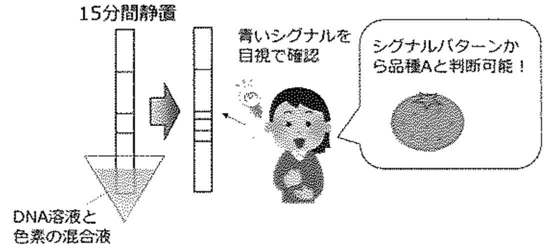
しかし、既存の手法では検査に時間がかかる上、高価な機器や設備も必要とされ、現場検査の利用は難しい。

そこで2020年度から農林水産研究推進事業委託プロジェクトの支援を受けて、岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域の門田有希准教授と進藤彰子研究員、農研機構果樹茶業研究部門の島田武彦研究領域長、愛媛県農林水産研究所の岡本充智主任研究員、ファスマックの高崎一人さんと竹内朋幸さんが共同で研究を行ってきた。

研究グループは真核生物のゲノム中に存在するレトロトランスポゾンという転移性DNA配列を高速シーケンサーで解析することで、柑橘類の品種を正確に識別できるDNAマーカーを開発。

さらに、開発DNAマーカーで増幅したDNA産物を核酸クロマトPAS（C-PAS）法で検出することで、DNA増幅後15分間の反応で品種識別のDNA検査が可能な手法を確立した。

門田准教授は「最近の品種は遺伝的に近いものを掛け合わせているため遺伝的に似ているが、そのような品種間でも品種をきちんと区別できる目印のDNAマーカーを探すのが大変だった。その後も適切かつ簡易に検出できる系を確立するのにも苦労した。C-PAS法で検出する上でも、期待通りのシグナルが迅速に検出されるよう、実験条件などをいろいろ工夫した」と語った。



研究で開発されたDNA検査法の概要　（岡山大学提供）

年内実用化へ動く

すでにキットの販売に向けて動いており、年内には検査キットがファスマックから販売され、広く利用できるようになるという。

サツマイモやリンゴ、ブドウなど、その他の複数の品目で研究を進めており、サツマイモではすでに複数の対象品種を識別可能なマーカーを見つけ、キットもほぼできあがっているそうだ。

今後は他の作物の研究やキット化を進め、実用化の面でDNAの抽出作業の簡易化にも取り組んでいきたい」と話している。

▽**問い合わせ先**
岡山大学
☎086（251）8354